

千葉県のDX *digital
transformation*

令和5年度の取組状況

千葉県デジタル改革推進局



CHIBA DX

千葉県のDX 令和5年度の実現状況 概要

【令和5年度における施策のポイント】

戦略の目指すべき姿の実現に向けた県の取組として、令和5年度は、災害状況のモニタリング、防災情報の迅速な周知、緊急搬送の迅速化など県民が安全に暮らせる体制の強化を図るとともに、事業者による高度なデジタル技術を活用した生産性向上・新しい取組を後押しする施策などに取り組みました。

また、県民や事業者による時間や場所にとらわれない行政手続きを推進するため、オンライン化の更なる推進や電子契約を導入するとともに、生成AIなどデジタル技術を活用した業務効率化を更に進め、スマート県庁の実現に向けた取組を加速しました。

【施策数】

令和5年度版：**200施策**（再掲30施策含む）

※ 戦略の目指す姿の実現に向けた主な取組に係る施策であり、システム保守事業等は除く



千葉県のDX 令和5年度の取組状況

概要

暮らしのDX

- ・防災情報システムを利用した情報の収集・処理により、迅速な災害対応や気象情報などの防災情報を提供
- ・河川監視カメラによるモニタリングにより、水位情報をいつでも確認
- ・YouTube広告を通じたプッシュ型注意喚起により飲酒運転根絶を目指す
- ・若者をターゲットにしたYouTube広告により消費者被害を防止
- ・情報端末やソフトウェアの導入支援を通じて障害福祉サービス事業所の業務負担を軽減
- ・医療機関への患者情報と受入可否の一斉照会・共有により搬送時間を短縮
- ・AIエンジンを活用した高精度の検索機能により、子供の安全を守る

- ・ウェアラブルカメラを用いて施設を効率化に管理することにより、将来にわたって安定的に飲み水をお届け
- ・わな作動の自動的通知により見回りを効率化

仕事・生きがいのDX

- ・働き方改革やテレワークの推進により多様で柔軟な働き方が可能に
- ・副業人材とのマッチングを行うプラットフォームの整備により、地域企業等を支援
- ・千葉県ホームページにおけるウェブアクセシビリティの向上により誰もが幅広く県政情報を閲覧可能
- ・1人1台教育用端末の活用により、質の高いプログラミング教育等を受講
- ・歴史的写真のデジタルアーカイブ化により、幅広い歴史資料がオンラインで閲覧可能

千葉県のDX 令和5年度の取組状況

概要

産業のDX

- ・高度なデジタル技術を活用したプロジェクトへの助成を通して、革新的な製品、サービスの開発を推進
- ・県内中小企業向けのワンストップ相談窓口により、DXなどのチャレンジを総合的にバックアップ
- ・水稻生育予測システム「でるた」の本格運用を開始、スマートフォンなどから誰でも簡単に利用可能
- ・BIM/CIMの導入により、発注者と受注者などの情報共有の効率化・高度化
- ・ポータルサイトの整備によりワーケーションがより身近に
- ・デジタルマップを充実させることで観光スポットを見つけやすく
- ・カメラ画像のAI解析により交通量調査が効率的に
- ・中小企業者等の事業所におけるエネルギー管理システム等の設置により、効率的なエネルギー利用を推進

行政のDX

- ・県の行政手続の約6割がオンラインで手続可能に
- ・誰でも活用可能な1280種類の行政データを公開
- ・電子契約の導入により、事業者の負担軽減及び事務の効率化
- ・オフィス改革の実施により、効率的な業務運営を実施
- ・県庁の業務改革で県民サービスの更なる向上

民間・シビックテックとの共創

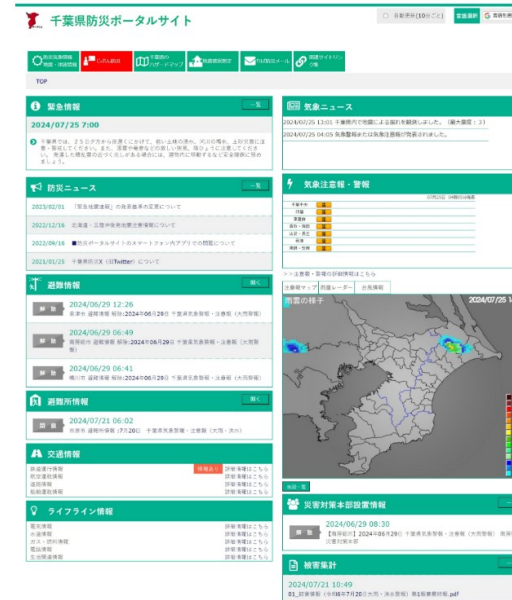
- ・千葉大学 × 千葉県 データ利活用アイデアソン (R5.9.5、9.14)
- ・千葉県DX推進協議会等における産学官民連携

防災情報システムを利用した情報の収集・処理により、迅速な災害対応や気象情報などの防災情報の提供を行います。

▶防災情報システム等運営事業

災害時に被害状況や避難情報等の防災情報を収集・処理するとともに、防災ポータルサイト、防災メール、Lアラートを通じて県民への防災情報の提供も行う「防災情報システム」等を運営しています。

防災ポータルのページ→



河川監視カメラによるモニタリングにより、水位情報をいつでも確認できます。

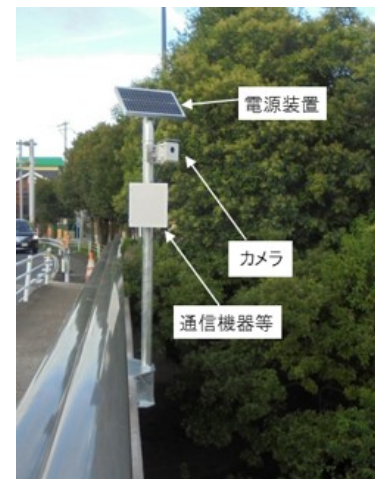
▶デジタルを活用した河川防災対策

市町村の避難判断の指標とされている水位計近傍において増水の切迫性を確認できるよう、河川監視カメラを設置し、映像・水位情報をウェブサイトで公表しています。

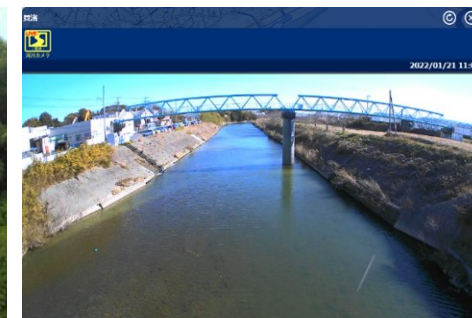
雨量・河川水位・河川映像に関するページ→



河川監視カメラ



公開映像



河川監視カメラ:計39河川 53箇所

YouTube広告を通じた**プッシュ型注意喚起**により**飲酒運転根絶**を目指します。

▶飲酒運転の根絶に向けた啓発事業

アルコールに関連する動画の視聴傾向があるYouTube視聴者を対象に、千葉県公式PRチャンネルに掲載している飲酒運転根絶動画をCM掲出しています。

飲酒運転の啓発に関するページ→



若者をターゲットにした**YouTube広告**により**消費者被害を防止**します。

▶YouTube広告を活用した消費者への教育・啓発活動

成年年齢が引き下げられたこと等により、若者が消費者被害に遭う機会の増加が懸念されます。そこで、若者の消費者被害防止を目的に、視覚的に情報を得やすい映像教材を作成し、YouTube広告を活用した効果的な消費者教育の推進を行っています。

県公式YouTubeページ→



情報端末やソフトウェアの導入支援を通じて障害福祉サービス事業所の業務負担の軽減を図ります。

▶障害福祉分野におけるICT導入モデル事業

障害福祉サービス事業所等における業務の効率化及び職員の業務負担の軽減を図るため、タブレット等の情報端末やソフトウェアなど、ICT機器の導入支援をしています。

障害福祉分野のICT導入モデル事業に関するページ→

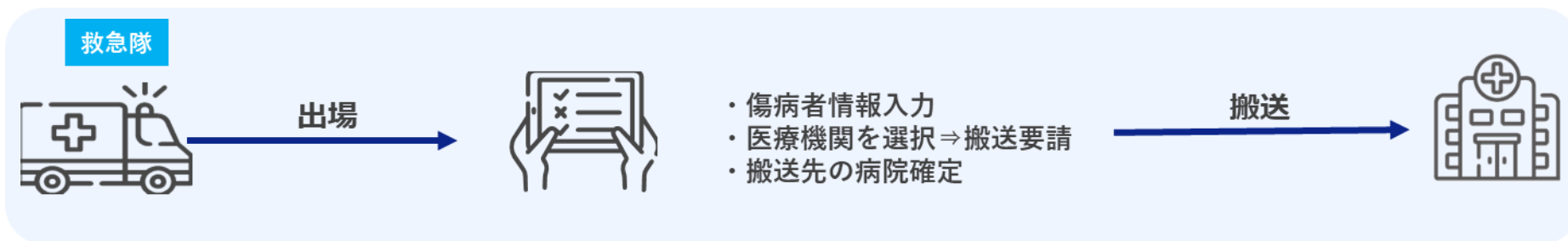


医療機関への患者情報と受入可否の一齐照会・共有により搬送時間の短縮を図ります。

▶救急医療等業務支援システム導入事業

救急搬送を効率化するため、救急隊及び救急医療機関の間で、患者情報と受入可否を複数の医療機関に一齐に照会・共有できる「救急医療等業務支援システム」を構築・運用しています。

救急医療に関するページ→



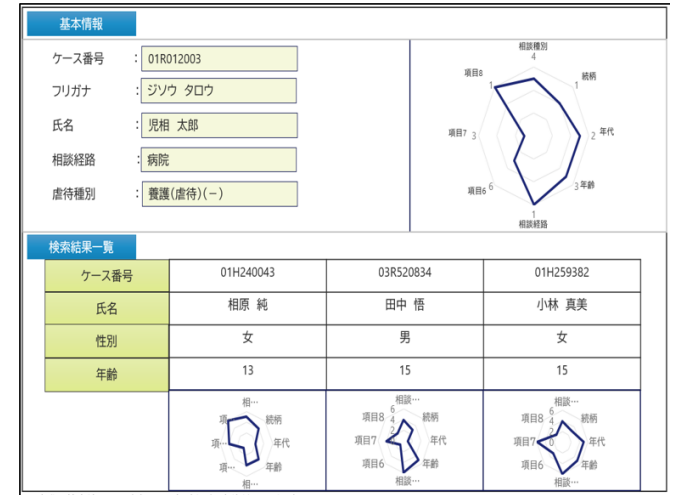
暮らしのDX・子育て

AIエンジンを活用した高精度の検索機能により、子供の安全を守ります。

▶ ICTを活用した児童相談所業務改善事業

現システムのデータベース内にある児童情報等をAIエンジンにまとめるとともに、高精度の検索機能をシステムに追加しました。検索機能を利用した過去の類似事例の確認により、児童相談対応における虐待の重篤度・一時保護の必要性の判断を補助しています。

児童相談所に関するページ→



類似と判定された根拠をチャートとして視覚的に表示

暮らしのDX・社会資本・まちづくり

ウェアラブルカメラを用いて施設を効率的に管理することにより、将来にわたって安定的に飲み水をお届けします。

▶ 県営水道における業務の効率化に向けたウェアラブルカメラの導入

業務効率化に向けたICT等利活用策の一環として、浄・給水場、水道事務所等における施設点検等の現場作業に活用するため、ウェアラブルカメラを導入しました。

千葉県営水道に関するページ→



暮らしのDX・環境保全

わな作動の自動的通知により見回りを効率化することで、農作物被害を防止します。

▶イノシシ等有害獣被害防止対策事業

有害鳥獣の捕獲の際に、わなが作動したことを捕獲従事者に自動的に通知するシステムなどのICT機器の導入を促進することにより、見回りの負担軽減を進めています。



仕事・生きがいのDX・働き方

働き方改革やテレワークの推進により多様で柔軟な働き方が可能になります。

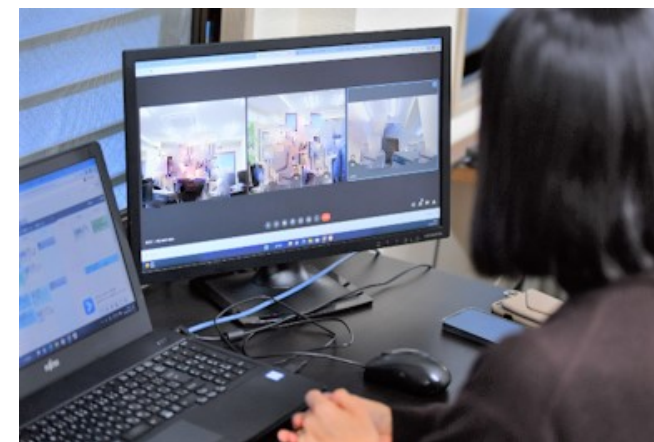
▶ちばの「新しい働き方」推進事業

自らのライフスタイルに応じた多様で柔軟な働き方の推進に向けて、働き方改革やテレワークの導入に取り組む中小企業等に対してアドバイザーを派遣するとともに、企業向けセミナー等を開催し、誰もが働きやすい職場環境づくりを支援しています。

有害鳥獣対策に関するページはこちら→



新しい働き方に関するページはこちら→



仕事・生きがいのDX・働き方

副業人材とのマッチングを行うプラットフォームの整備により、地域企業等を支援しています。

▶ 副業人材マッチング支援事業

地域課題の解決に資する企業等の取組を支援し、地域活性化や関係人口の増加を図るため、民間人材サービス事業者が運営する副業人材プラットフォーム機能を活用し、金融機関や商工団体と連携しながら、地域企業等と専門能力を持つ副業人材をマッチングしています。

副業人材マッチング支援事業のページはこちら→



仕事・生きがいのDX・社会参画

千葉県ホームページにおけるウェブアクセシビリティの向上により誰もが幅広く県政情報を読覧できます。

▶ 千葉県ホームページにおけるウェブアクセシビリティ向上への取組

年齢や障害の有無、利用環境に関係なく誰でも利用しやすいウェブサイトを目指し、音声読み上げソフトを使用する視覚障害に配慮した見出し及び本文の作成などによりウェブアクセシビリティ(誰もがホームページ等で提供される情報や機能を支障なく利用できること)の向上を図りました。

千葉県ホームページはこちら→



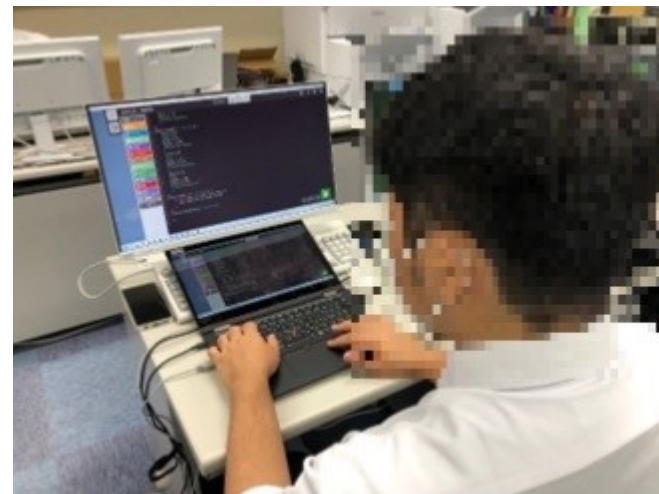
仕事・生きがいのDX・学習機会

1人1台教育用端末の活用により、質の高いプログラミング教育等が受講できます。

▶ Society5.0時代を支えるデジタル人材育成 事業

新学習指導要領に基づく新科目「情報Ⅰ」で、プログラミング等の情報技術を活用して課題解決を行う授業が必修化されたことを踏まえ、県内高校生の情報活用能力の向上を図るとともに、デジタル社会で求められる人材の育成に取り組んでいます。

ICT教育のページはこちら→



仕事・生きがいのDX・文化芸術・スポーツ

歴史的な古写真のデジタルアーカイブ化により、幅広い歴史資料がオンラインで閲覧できます。

▶ ふるさとちば古写真デジタルアーカイブの公開

県民から集めた歴史的な古写真と県立博物館所蔵の古写真を、一般県民をはじめ教育・研究機関やメディアなど多様な主体が活用できるよう、デジタルアーカイブ化して公開しました。

ふるさとちば古写真デジタルアーカイブはこちら→



産業のDX・産業振興・中小企業

高度なデジタル技術を活用したプロジェクトへの助成を通して、革新的な製品、サービスの開発を推進します。

▶ 中小企業デジタル技術活用支援事業

県内中小企業のデジタル技術の活用を促進するため、生成AI、ロボット等の高度なデジタル技術を活用した革新的な製品、サービスを開発・実証するプロジェクトに助成しています。

中小企業デジタル技術活用支援事業のページはこちら→



令和5年度 中小企業デジタル技術活用支援事業

デジタル技術を活用した実証プロジェクトに
最大 **1,500万円** 補助します！

千葉県では、県内中小企業のデジタル技術の活用を促進するため、高度なデジタル技術を活用した革新的な製品、サービスを開発・実証するプロジェクトについて助成します。県内の中小企業と連携し、前向きに挑戦する企業の皆様のご応募をお待ちしています。



補助対象者	県内中小企業を含む複数事業者の連携体
補助対象事業	下記①②すべての要件を満たすこと。 ①デジタル技術を活用した取組であること ②県内を実証フィールドとした取組であること
補助限度額	1,500万円/件（下限額100万円/件）
補助率	補助対象経費の4/5以内

県内中小企業向けのワンストップ相談窓口により、DXなどのチャレンジを総合的にバックアップします。

▶ チャレンジ企業支援センター事業

DXやカーボンニュートラルなどを含む、県内中小企業からの様々な相談にワンストップで対応し、専門家派遣などの支援をしています。

ワンストップ窓口に関するページはこちら→



チャレンジ企業支援センター

窓口相談

経営	技術	IT・DX	創業	事業承継
金融	法律	設備	取引	雇用
その他企業経営に関する相談				

↓ ↓ ↓

支援メニュー

専門家派遣	ビジネスプラン評価	ISO等認定取得支援	人材採用
研究開発支援	取引支援	各種助成金	各種支援策

課題に合わせて他の支援メニューをご案内します

中小企業者等

支援要請

ワンストップ支援

産業のDX・農林水産業

水稻生育予測システム「でるた」の本格運用を開始、スマートフォンなどから誰でも簡単に利用できます。

▶ 水稻生育予測システム「でるた」の本格運用開始

気候変動の影響により水稻の農作業適期の判断が難しくなってきたことから、生育を予測し、病害虫の防除など稲の生育状況に応じた適切な作業時期の目安が簡単にわかる無料ウェブアプリ、「でるた」を開発し、令和5年度から本格運用を開始しました。

水稻生育予測システム「でるた」のページはこちら→



千葉県 でるた

検索

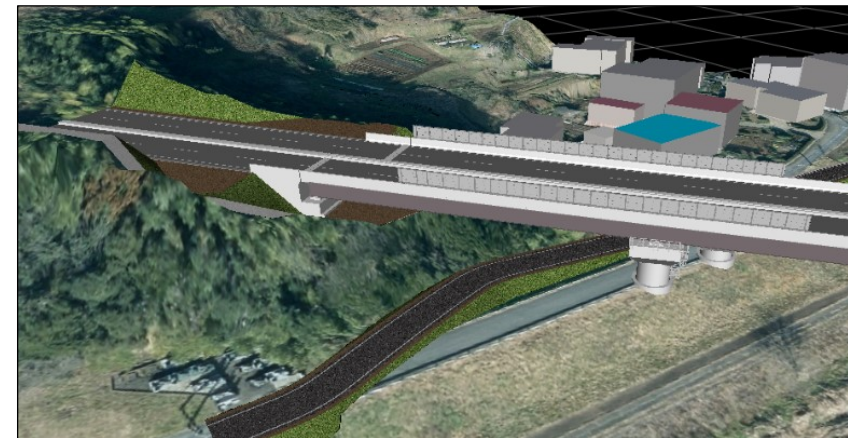
産業のDX・建設産業

BIM/CIMの導入により、発注者と受注者などの情報共有の効率化・高度化を図っています。

▶ 県発注工事におけるBIM/CIMの試行

県発注工事において、設計・施工・維持管理の各段階において3次元モデルを活用することで、構造物のイメージを明確にし、関係者間の情報共有の効率化・高度化を図っています。

※ BIM/CIM・・・調査・計画・設計段階から施工、維持管理の建設生産・管理システムの各段階において、3次元モデルを連携・発展させ、あわせて事業全体に携わる関係者間で情報を共有すること。



ポータルサイトの整備によりワーケーションがより身近になりました。

▶ちばワーケーション受入促進事業

本県におけるワーケーション受入の推進のため、モニターツアーを通じて企業と受入地域のマッチングの機会を提供するとともに、千葉県ワーケーションサイト「ちょっとちばでワーケーション」によるモデルコース・プログラムなどの情報発信を行っています。

※ ワケーション・・・Work(仕事)とVacation(休暇)を組み合わせた造語です。テレワーク等を活用し、リゾート地や温泉地、国立公園等、普段の職場とは異なる場所で余暇を楽しみつつ仕事を行うこと

千葉県ワーケーションのページはこちら→



デジタルマップを充実させることで観光スポットを見つけやすくなりました。

▶観光情報発信ウェブサイト・SNSの管理・運営事業

千葉県公式観光サイトを、「ちば観光ナビ」としてリニューアルを行いました。デジタルマップ機能が充実し、旅行中でも観光スポットが探しやすくなるとともに、グルメやスポット、特集記事も充実しています。

観光情報のページはこちら→

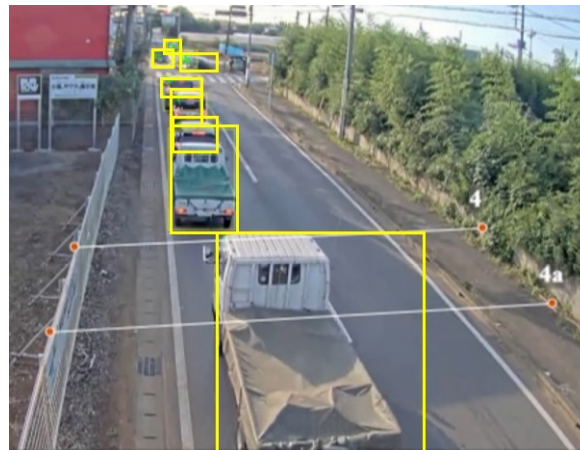


産業のDX・物流・交通網

カメラ画像のAI解析により交通量調査が効率的になります。

▶交通量調査におけるCCTVカメラ画像のAI解析

目視で行っていた交通量調査をカメラ画像のAI解析により自動化することで、調査の効率化、精度向上を図っています。



照明灯等にカメラを設置し、交通状況を取得
AI画像解析ソフトを活用し、取得したデータから交通量や交通流動を把握



産業のDX・カーボンニュートラル

中小企業者等の事業所におけるエネルギー管理システム等の設置により、効率的なエネルギー利用を推進します。

▶事業者向け脱炭素化促進事業

県内で事業を行う中小企業者等を対象に省エネ診断を実施するとともに、当該診断等を踏まえた脱炭素に資する設備更新にかかる経費の一部について補助を行うことにより、産業部門におけるカーボンニュートラルの取組の推進を図っています。

令和6年度千葉県業務用設備等脱炭素化促進事業 補助金のページはこちら→



千葉県 業務用設備等脱炭素化 促進事業補助金



中小企業等の脱炭素化に向けた設備導入費用等を助成します！

	省エネ診断枠	簡易診断枠								
上限額補助率	1,000万円 補助率1/2	500万円 補助率1/4								
対象者	以下の条件を満たす事業所を有する中小企業者等※1（みなし大企業は除く） ■ 交付申請日までに「CO2CO2スマート宣言事業所登録制度」に申請していること ■ 交付申請日までに募集要領で指定する「省エネルギー診断」を受診（省エネ診断枠）または「簡易自己診断」を実施（簡易診断枠）していること									
対象事業	■ 千葉県内の事業所において、「省エネルギー診断」を受診または「簡易自己診断」を実施した結果に基づき、省エネルギーの促進や再生可能エネルギーの活用等に資する設備を導入する事業であること ※省エネルギー診断受診費のみの申請も可能です。 ■ 本事業の実施により削減されるエネルギー起源二酸化炭素排出量が年間3トン以上の事業であること ■ 既に補助事業に着手していないこと									
受付期間	<table border="1"> <thead> <tr> <th>受付期間</th> <th>2024</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>省エネ診断枠 受付期間</td> <td>6.22(木) - 10.2(月)</td> </tr> <tr> <td>簡易診断枠 受付期間</td> <td>12.15(金) - 2.15(木)</td> </tr> <tr> <td>省エネ診断受診費のみの受付期間</td> <td>1.31(日) - 2.15(木)</td> </tr> </tbody> </table>		受付期間	2024	省エネ診断枠 受付期間	6.22(木) - 10.2(月)	簡易診断枠 受付期間	12.15(金) - 2.15(木)	省エネ診断受診費のみの受付期間	1.31(日) - 2.15(木)
受付期間	2024									
省エネ診断枠 受付期間	6.22(木) - 10.2(月)									
簡易診断枠 受付期間	12.15(金) - 2.15(木)									
省エネ診断受診費のみの受付期間	1.31(日) - 2.15(木)									
※1 予備的な(仮)次期受付終了となります。	実績報告書受付期間(事業終了次期概ね30日以内)に提出									

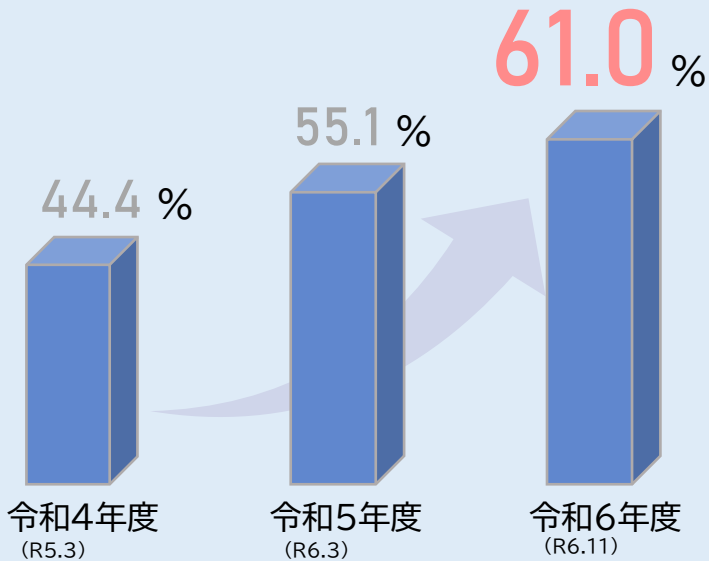


県の行政手続の約 **6割** がオンラインで手続可能に

(令和6年11月調査)

行政手続について、デジタル技術の活用を前提とした業務プロセスの見直しを集中的に実施し、時間や場所にとらわれない行政手続を拡大しています。

行政手続の全利用件数のうち
オンラインによる手続が可能な割合



令和9年度までに95%以上を可能とする。

before

県の窓口へ行く

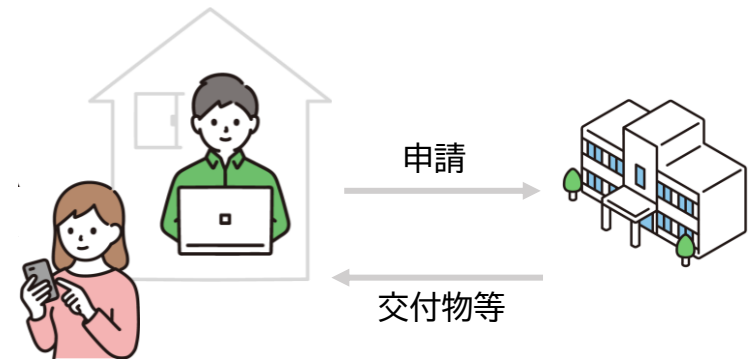
様式記入

待ち時間

提出・申請

完了

after



お家でも外出先でも24時間申請可能

例えば、こんな手続が、もうオンラインで！

- ・パスポートの申請
- ・建設業許可申請
- ・資格試験の受験申し込み
- ・各種講座・研修・イベントへの参加申し込み

▶ **キャッシュレス決済も拡大！**

- ・運転免許証の交付
- ・パスポートの交付
- ・県立博物館入場料
- ・県立高等学校の入学料

調査・学術研究、新しいアプリケーション開発、
ビジネスの創出など、ぜひ、みなさんの自由
な発想でデータをご活用ください

誰でも活用可能な **1280** 種類の行政データを公開中！

(令和6年3月末時点)

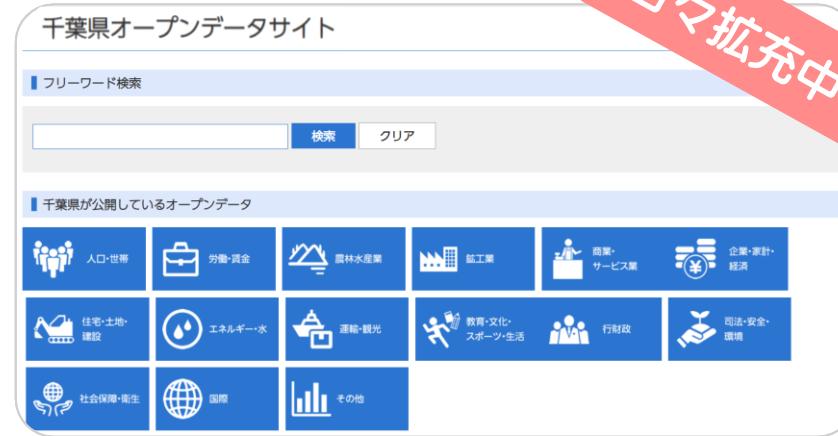
オープンデータ

行政機関等が所有する様々なデータを、
誰もが無料で自由に利用できるよう公開しているもの。

県のオープンデータ活用事例

- ・ 医療情報ネット(ナビィ)
- ・ ちばバリアフリーマップ
- ・ ちば救急医療ネット
- ・ ちば福祉ナビ
- ・ ちば観光ナビ
- ・ 漁海況情報・東京湾漁場環境情報等
- ・ 生物多様性地理情報システム
- ・ 水稻生育予測システム「でるた」
- ・ ちば情報マップ

※ その他の活用事例は、オープンデータ
サイトの「千葉県のデータ活用サイト」を
ご覧ください。



オープンデータサイト

クリック↑

月平均 **58,000** PV over
日々拡充中!



オープンデータを活用したアイデアソン



オープンデータの利活用を推進
するため、学生がデータを活用し
てチームで地域課題の解決策を検
討するイベント(アイデアソン)を
令和5年度から開催。

電子契約

の導入により、事業者の負担軽減及び事務の効率化！

電子メールを受信できる環境であれば契約を締結でき、事業者・県職員双方に負担が少ない契約方法を実現。

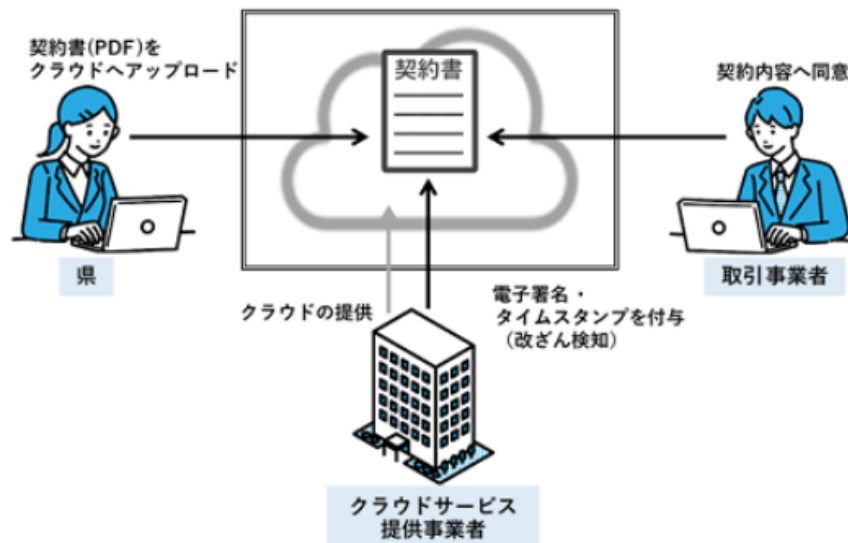
before

契約書の押印等、手間が必要

契約書の郵送等、時間が必要

郵送費・印紙税等、費用が必要

after



手間、時間、費用をかけずに契約可能！

▶ 電子契約の実証事業を実施

手順等の整理・関係規程等の整備

県土整備部において実証実験

令和6年4月から電子契約を本格導入！

ちばDXポータル
電子契約に関するページはこちら→



オフィス改革

の実施により、効率的な業務運営を実施！

多様で柔軟な働き方推進のため、職員のコミュニケーションの活性化、ペーパーレスの一層の推進、業務の内容や業務状況に応じた執務環境を実現。

(令和5年度実施・・・デジタル戦略課、デジタル推進課、山武地域振興事務所、東上総教育事務所山武分室)

オフィス改革後の執務スペース

▶ フリーアドレスとなった執務スペース



▶ 拡充したコミュニケーションスペース



▶ 集中作業スペース



ちばDXポータル
オフィス改革に関するページはこちら→



令和6年度は実証実験の対象所属を拡大！

県庁の業務改革 で 県民サービスの更なる向上 へ!

○ペーパーレス化等の推進

- 電子決裁率 **2.6%** → **85.3%**
令和元年度 ※文書に関する起案・供覧処理 → 令和5年度
- 県の手続の **約9割で押印廃止済**

▶ 生成AI 利用に係るガイドライン

県専用の生成AI利用環境の利用に係るガイドライン概要

県専用の生成AI利用環境の特徴

- ① 入力データが生成AIの学習データに利用されない設定となっている。(データ利用の不同意(オプトアウト)の個別設定が不要)
- ② 県専用の環境にデータが保護され、職員以外はアクセスできない。
- ③ 全職員に利用アカウントが付与され職員が個別にアカウントを作成する必要がない。

※ インターネット上の情報を踏まえた回答を生成することはできない。

データ入力時の注意事項	生成物利用時の注意事項
<p>✓ 個人情報をはじめとした機密性の高い情報を入力しないこと。</p> <p>入力不可とする情報の例： 個人情報、法人情報、法令秘密情報 等</p> <p>入力可能とする情報の例： 公表を前提としている文書、会議・打ち合わせ記録 等</p>	<p>✓ 生成物を鵜呑みにせず根拠等をしっかり確認すること。 <small>生成物には、虚偽や意図しない偏りが含まれる可能性があるため、正確性・妥当性・一貫性・説明可能性の観点から確認する。特に、事実関係の誤り、偏り、計算、最新情報に注意。</small></p> <p>✓ 著作権、商標権、意匠権等を侵害していないか確認すること。 <small>インターネット検索や「特許情報プラットフォーム」を活用すること。</small></p> <p>✓ 生成物は、原則として取捨選択、修正加工を行った上で利用すること。 <small>生成物をそのまま利用した場合は、「千葉県生成AI利用サービスにより作成」と資料中に明記すること。</small></p>

○デジタルツールの活用で、定型的事務を削減

- **生成AI**を本格導入！
 県専用の利用環境でデータが保護され、入力データが生成AIの学習データに利用されない等の情報漏えい対策を確保。
- **RPA**に作業を自動化
 これまで職員が行っていた操作をPC上のロボットで自動化
 →年間**3,760**時間の削減
- **ローコードツール**による**職員自らのアプリ開発**
 職員自らがアプリケーションを開発して業務を円滑化
 →**20**業務で開発、導入
「千葉県コロナ罹患後症状(いわゆる後遺症)対応医療機関検索システム」
 「千葉県堆肥利用促進ネットワーク」など
- **その他デジタルツール**
 AIチャットボット、AI議事録、オンライン会議、AI-OCR、
 庁内ビジネスチャット

ちばDXポータル
 生成AI、業務効率化に関するページはこちら→



千葉大学 × 千葉県 データ利活用アイデアソン(R5.9.5、9.14)

- ・オープンデータの利活用に向けた機運醸成、人材育成を目指し、アイデアソンを千葉大学と開催。
- ※ 本県として初めての開催。

アイデアソンとは？

- ・「アイデア」と「マラソン」を掛け合わせた造語のこと。
- ・グループ単位で特定のテーマについてブレインストーミングを行い、新しいアイデアによるイノベーションの創出を行う。



令和6年度は参加大学数や内容を拡充！
コンテストも実施！

アイデアソンに関するページはこちら→

千葉県DX推進協議会等における産学官民連携

県内市町村、企業、大学、NPOなどで構成

- ・ DXセミナー
- ・ デジタルセミナー2023 in 千葉(総務省、千葉大学と共催)
- ・ ちばDXフォーラム
(公益社団法人千葉県情報サービス産業協会と共催)
- ・ 企業と自治体のマッチングに向けた提案会

千葉県DX推進協議会に関するページはこちら→



参加費無料 申込締切：11月11日(日) 17時

デジタルセミナー2023 in 千葉

～デジタル新時代への変革！千葉から加速する～

日時 2023年 11月9日(木) 13:30-16:00 (予定)
定員：現地70名 オンライン200名
会場：千葉大学 INOBE 1 イベントホール-A&B 千葉県稲佐区宮前1-23

お申し込みはQRコードを読み取るか
右記メールアドレスまで：seminar2023@mndri.co.jp

13:00	開場
13:30	開会挨拶 総務省 情報政策部長 菅野誠二氏 千葉県 総務部 デジタル政策推進課長 梶山 聡子
13:40～14:00 (20分)	「デジタル超都市国家構想実現のための地域DXの推進」 講師：尾花 直樹 (総務省 情報政策部長)
14:00～14:30 (30分)	「地域との共創による社会課題の課題と解決の取組」 講師：高橋 伸樹 (株式会社インベントイノベーション推進センター 代表取締役)
14:45～15:15 (30分)	「データ活用を推進した【AI(深層学習)】によるデータ主導で持続可能な成長への変革に向けて」 講師：ブルーム・タミル (Blum Tamir) 氏(WEARTECH株式会社 CEO)
15:15～15:30 (15分)	「千葉県におけるスタートアップの現状と課題」 講師：高橋 伸樹 氏(株式会社インベントイノベーション推進センター 代表取締役)
15:30～15:45 (15分)	「千葉県のスタートアップ支援体制」 講師：野山 明 氏(株式会社千葉銀行 法人総務部 システムソリューショングループ 副部長)
15:55	閉会挨拶

【主催】総務省 情報政策部長 菅野 誠二
【共催】千葉県、千葉大学、千葉県DX推進協議会

デジタルセミナー2023 in 千葉 (11/9)

特別企画
ちばDXフォーラム
「AIと歩む千葉の未来」

主催：千葉県DX推進協議会 / 公益社団法人千葉県情報サービス産業協会
日時：令和6年11月29日(火) 14:00～16:30
会場：千葉県文化センター3F 大会ホール
〒260-0013 千葉県千葉市中央区中央2-5-1
参加方法：リアル会場 ※Web配信は予定しておりません。

14:30～15:20 「NICTの生成AIとその周辺」
15:20～16:10 「自律体における生成AIの活用について」

15:20～16:10 「自律体における生成AIの活用について」
講師：高橋 伸樹 氏(株式会社インベントイノベーション推進センター 代表取締役)

16:10～16:30 「生成AIの活用と課題」
講師：野山 明 氏(株式会社千葉銀行 法人総務部 システムソリューショングループ 副部長)

【主催】千葉県DX推進協議会
【共催】千葉県DX推進協議会、公益社団法人千葉県情報サービス産業協会
〒260-0013 千葉県千葉市中央区中央2-5-1
電話：043-223-2411

千葉県IT-EXPO2023におけるちばDXフォーラム (11/29)